演題： 国際規格対応　安全入門ゼミナール 2020 安全の基礎を学ぶ(欧州 CE マーキング)
協賛： 日本電機工業会,安全工学会，エンジニアリング協会，化学工学会,軟包装衛生協議会，日本機械工業連合会，日本鍛圧機械工業会，日本金属プレス工業協会，日本高圧力技術協会，日本工作機械工業会，日本食品機械工業会，日本信頼性学会，日本製パン製菓機械工業会，日本非破壊検査協会，日本プラントメンテナンス協会，日本包装技術協会，農業食料工学会，腐食防食学会
開催日：2020 年 12 月 18 日（金曜日）13:00～15:05
会場：WEB 会議システム　Zoom にて受講いただく
聴講料：この度のコロナ渦における実演講習会が実施できないこともあり、今回はオンライン開催とし聴講料は無償対応といたしました.
参加者：90（会員 58 名、共催・協賛団体会員：5 名、　会員外：26 名、学生：1 名）
主旨：　欧州では、機械安全の安全要求の標準化が ISO,IEC を中心に進められており、わが国でも日本工業規格(JIS) として発行されている.
機械・機器メーカは仕向け地で使用されている、機械安全の標準に従って機械を設計する必要があるが、国際標準の内容の理解・解釈に時間を要している.また、仕向け地で受け入れられるのか心配であるなどの声が機械メーカから寄せられている.
当特別講演会では、機械安全設計を実施する際にまず初めに理解しておくべき点を、国際標準を用いた評価実務者により解説を行う.今回の安全入門ゼミナールは、これまで開催してきた冬季、夏季講習会よりもずっと導入時点で不安に思う部分や難しいところ、それに、知っておくと楽ができるところに重点を置いて解説している.よって、対象受講者は新担当や新しく入社されたばかりで国際標準対応(機械、電気、制御)を新たに始められる方を対象としています.
演題詳細：

司会：テュフズードジャパン株式会社　IM グループ 機能安全部　淺井　由尚		
1．国際規格対応　安全入門ゼミナール 2020		
開演とご挨拶		13:00　～ 13:05
1)安全学入門	メーカ代表として、「安全とは何か」について解説を行う	13:05～ 13:25 富士電機 戸枝　毅
	質疑応答	13:25～ 13:35
2) 国際安全規格入門	国際安全規格対応を考えて行く上で、新人や新担当者が直面する様々な問題点を、国内の TC や WG で国際安全規格の委員を務めている杉田氏から解説を行う	13:35～ 13:55 テュフラインランド　杉田 吉広
	質疑応答	13:55　～ 14:05
3)CE マーキングの基礎 1	CE マーキングの基礎について、国際規格エキスパートによる解説を行う	14:05　～ 14:25 テュフズードジャパン　松尾　智志
	質疑応答	14:25　～ 14:35
4) CE マーキングの基礎 2	CE マーキングの基礎について、国際規格エキスパートによる解説を行う	14:35～ 14:55 テュフズードジャパン　小川　太一
	質疑応答	14:55　～ 15:05
閉会のご挨拶		15:05　～ 15:10

アンケート結果：
今回無償対応としたので、アンケートの実施は行いませんでした.
写真：

1)安全学入門

2) 国際安全規格入門

3)CE マーキングの基礎 1

4) CE マーキングの基礎 2

所見：　今年の講習会はコロナ渦で全 3 回開催予定が、1 回のみとなった.しかも初の WEB 会議ベースとなり、事前準備で少し混乱があったものの、終了してみれば無事に開催できました.これらは偏に講師の皆様の大変なご準備と、突然のアクシデントに対しても冷静に対応できるご経験が、今回の開催の成功につながりました.　感謝の言葉がみつかりません.　この成功体験をもとに、2021 年度の安全講習会シリーズの成功につなげて行ければと思います.